

表丹沢方面の自然公園情報

日付：令和5年6月16日（金）

コース：札掛—長尾尾根（中腹）

天気：晴れ時々雨

気温：15度（12時頃、標高1000メートル付近）

●札掛から新大日までの長尾尾根線は、緩やかですが長い登りが続きます。いくつか野外卓もありますので、コースタイムに余裕を持ち、こまめな休息を心がけましょう。また、この時期はヤマビルの活動が活発になるため、ヤマビル対策も忘れずに。

●植生が減少した地面は雨を直に受けるため、崩れやすくなります。崩落箇所や裸地を見ながら植生の大切さを改めて感じました。



札掛から500メートル付近



雨水の浸食によってできた土柱

●崩落による通行止め箇所は、黄色い看板で目立ちやすくなっています。崩落箇所を迂回する新たなルートを進みましょう。途中、丸太階段が土砂により埋まっていたため、掘削作業をしました。



札掛から新大日方面への迂回路（始点）



札掛から新大日方面への迂回路（終点）



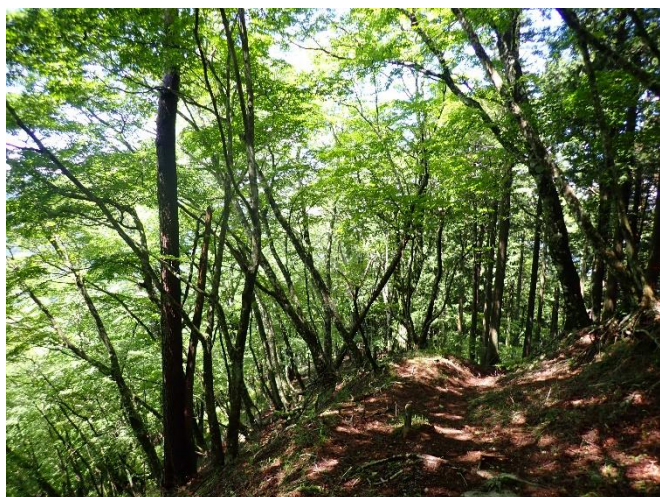
丸太階段の掘削

●東丹沢県民の森、本谷コースは栈橋崩落の復旧が完了するまで通行止めです。



本谷コース通行止めのお知らせ簡易看板（左下）

●標高 1000 メートル付近の野外卓から新大日方面へ進むと、木漏れ日が入ると美しい景色が広がりました。この付近ではハルゼミの合唱が聞こえてきました。



広葉樹林



ハルゼミの抜け殻



ヤマアカガエル



ジシバリ

●ツキノワグマによる真新しい樹皮剥ぎを確認しました。ヒノキの表皮を剥ぎ、形成層を歯で削り取った跡です。一説によると、ドングリなどのエサとなる木の実が少ない初夏に、このような行動が見られるようです。



クマによる樹皮剥ぎ跡



クマの門歯で削った跡

●梅雨に入り、市街地でも天気が変わりやすくなりました。今回の巡視では、一時雨と雷が鳴り、休憩時には汗と雨で体が冷えるほどでしたが、雨が止むと好天に恵まれ暑くなりました。梅雨に限らず山の天気は変わりやすいため、登山用の雨具は常に携行しておきましょう。